



ユネスコスクール便り

No.109

令和3年10月14日
大牟田市I社コスクール
担当者通信

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



SDG17と社会に開かれた教育課程

SDG17は「パートナーシップで目標を達成しよう」です。これはESDを進める上で欠くことのできない考え方です。SDGsは、学校内の閉じた教育活動だけで達成できるものでないことは、皆さんもご承知のとおりです。専門家の招聘、学校間交流、地域との交流、NPOや企業との連携等を積極的に進め、各学校の特色を踏まえた開かれた教育課程をダイナミックに推し進めることが大切です。新学習指導要領が中学校でも完全実施となり、このようなカリキュラム・マネジメントの考え方は、より重要なものとして認識されています。各学校のこれまでのESDの進め方のよさを再評価し、今求められている学力の育成に生かしていきましょう。

学校とNPOや企業との連携については、教育みらい創造室がその基盤を整えてくださっています。大いに活用していきましょう。

海洋教育合同学習交流会が行われました

9月29日に、みなと、天領、駛馬、天の原の各小学校による海洋教育合同学習交流会が行われました。海洋教育推進校である4校が、これまでの取組とこれからの取組について意見交換し、東京大学の及川先生よりご指導いただきました。

これまで4校が協働して海洋教育を進めてきたことで、問題解決の行動について他校のアイデアを取り入れるなど、ひとつの学校だけでは得ることのできない気づきを子ども達が得ています。

今後も、オンラインを用いた協働学習の在り方について考え、実践を深めていこうと考えています。



特色ある実践事例の紹介

みんなで守ろう! 大切な川 玉川小学校



玉川小学校の4年生は、総合的な学習の時間に「自然を守ろう! 鳴川探検隊」の学習に取り組んでいます。一学期は、地域を流れる鳴川の様子を観察していろいろな生き物を見つけたり、ネイチャーガイドの柿川先生に講師としてお越しいただいて、水質調査や透明度調査を実施したりしました。

また、今年度は新たな取組として、本校と同じく地域の川について学習している大牟田市内の学校とZoomを使って情報交換しました。自分たちが調べた結果と他校の結果との類似点や相違点を比べ、新たな疑問を発見したり二学期の学習のヒントをつかんだりすることができました。



zoomによる情報交換の様子

命を守る減災プロジェクト ~地域減災の取組~

大正小学校



大正小学校では、子どもたちが「命を守る減災プロジェクト」に取り組んでいます。写真は「通学路で大雨にあったら」の学習の中で、子どもたちが通学路の高低差を調べ、雨のときに水の流れる方向を考えている様子です。このようにして、校区のいろいろな場所を調べて大雨のときの避難マップを作りました。ほかにも、学年に応じて「防災カルタをつくろう」「非常用持出袋の中身を考えよう」「通学路で地震にあったら」などの学習に取り組んでいます。みんなで力を合わせて災害に強い持続可能なまちをつくっていきます。



通学路の高低差を調べる子どもたち